



TITLE:

表紙・まえがき・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・まえがき・目次. 京都大学附置研究所・センターシンポジウム：京都からの挑戦―地球社会の調和ある共存に向けて (第11回) 「翔ぶ、京大」 --報告書-- 2017, 11

ISSUE DATE:

2017-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/226432>

RIGHT:

京大

翔

ぶ

京都からの挑戦

地球社会の調和ある共存に向けて

第11回 京都大学 附置研究所・センターシンポジウム

日時 2016年3月12日土
10:00~17:10
場所 品川インターシティホール

報告書



京都大学附置研究所・センターシンポジウム

京都からの挑戦（第11回）

報告書

地球社会の調和ある共存に向けて



まえがき

京都大学研究連携基盤主催のシンポジウム「第 11 回 京都大学附置研究所・センターシンポジウム 京都からの挑戦－地球社会の調和ある共存に向けて」を、平成 28 年 3 月 12 日（土）に東京都、品川インターシティホールにおいて開催いたしました。

これまで 10 年間にわたり本学の附置研究所・センターは、相互連携のもとに学際的な共同研究を推進するとともに、研究成果の社会発信のために京都以外の中核都市で「京都大学附置研究所・センターシンポジウム 京都からの提言－21 世紀の日本を考える」を毎年開催してきました。そして、学術研究の高度化が進展し、各学問分野の専門化・細分化が進むなか、本学の将来構想（WINDOW 構想）の柱の一つである「独創的な先端研究・融合研究の推進による学術・社会のイノベーションの創出」のもと、附置研究所と研究センターの強み・特色をさらに伸ばすとともに、異なる視点を持つ研究者の知を結集させ異分野融合・新分野創成を図るために、「京都大学研究連携基盤」(Kyoto University Research Coordination Alliance : KURCA) を平成 27 年 4 月に設置しました。この KURCA がシンポジウムを主催することになり、そのメインテーマを「京都からの挑戦－地球社会の調和ある共存に向けて」と改め、新しいシリーズとして第 1 回目当たる今回は、サブテーマを「翔ぶ、京大」として本シンポジウムを企画しました。本報告書は、その記録をまとめたものです。

本シンポジウムは山極壽一京都大学総長の開会挨拶ではじまり、石崎宏明文部科学省学術機関課学術研究調整官よりご祝辞をいただきました。引き続き、海老原祐輔准教授（生存圏研究所）の「オーロラ研究者が見た地球」、石川裕彦教授（防災研究所）の「砂漠・半乾燥地の気象学」、谷垣実助教（原子炉実験所）の「福島を見守る「目」」と題する講演があり、昼食を挟んで、本研究連携基盤が新たに取り組んでおります未踏科学研究ユニットの紹介を行ったあとに、齊藤博英教授（iPS 細胞研究所）の「RNA スイッチによる細胞運命制御」、岩城卓二教授（人文科学研究所）の「古文書から覗く日本人」、幸島司郎センター長（野生動物研究センター）の「アマゾンフィールドミュージアム」と題するの講演を行いました。いずれの講演も研究者自身の経験に基づいた熱いものでした。

高校生からの総長への質問コーナーでは、総長からの回答はもちろん、総長からの若い世代への熱いメッセージも送られました。また、パネルディスカッションでは「翔ぶ、京大」をテーマとし、吉川左紀子センター長（こころの未来研究センター）をコーディネーターに、山極壽一総長、津田敏隆所長（生存圏研究所）、井波陵一所長（人文科学研究所）、小柳義夫所長（ウイルス研究所）がパネリストとして、研究者になったきっかけ、これからの学生に望まれる経験、未知の世界に向かう心構えや研究者の社会的使命について、活発な討論を行いました。

当日は、関東地域を中心に各地から、高校生、教員を含む 527 名もの参加がありました。

そのうちの約 200 名は 10 代の参加者で、アンケートには「どんな些細なことであれ、いつか自分が進む道の出発点になるかもしれないと気づかせてくれた。」「京都大学の先生方の研究に心うたれましたし、京大に行きたいと思いました。」「日本一ではなく世界一を目指す。この言葉が心に残った。真剣に遊ぶことで社会に貢献、さらには世界に貢献してみたいと思った。」などの感想が寄せられ、特に若い世代に具体的な研究者像をイメージできる機会を提供することができたと考えます。

また「個々の研究の素晴らしさを感じるとともに、基礎研究の重要性を感じることができました。」「研究者の社会貢献に対する意識に感激しました。」など、本学の附置研究所・センターの活動内容の周知の機会となり、今後の開催継続を望む意見もいただきました。

最後になりましたが、都立高校への周知、参加者取りまとめなど様々なご協力をいただきました東京都教育委員会の皆様、連載記事の掲載などを通じて長年に渡って本シンポジウムを支えていただいております読売新聞社のご支援に心より御礼申し上げます。これからも本シンポジウムを皆様とともに継続、発展させていく所存です。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

京都大学研究連携基盤 基盤長 大志万 直人

目 次

まえがき

開会挨拶	京都大学総長 山極 壽一	1
講演 1	オーロラ研究者が見た地球	3
	京都大学生存圏研究所准教授 海老原祐輔	
講演 2	砂漠・半乾燥地の気象学	17
	京都大学防災研究所教授 石川 裕彦	
講演 3	福島を見守る「目」	31
	京都大学原子炉実験所助教 谷垣 実	
質問回答コーナー（午前の部）	49
未踏科学研究ユニット紹介	京都大学研究連携基盤 基盤長 大志万 直人	55
	未来創生学国際研究ユニット 佐々木 節（京都大学基礎物理学研究所長）	
	ヒトと自然の連鎖生命科学ユニット 平井 啓久（京都大学霊長類研究所所長）	
	グローバル生存基盤展開ユニット 小西 哲之（京都大学エネルギー理工学研究所教授）	
	学知創生ユニット 貴志 俊彦（京都大学地域研究統合情報センター副センター長）	
講演 4	RNAスイッチによる細胞運命制御	67
	京都大学iPS細胞研究所教授 齊藤 博英	
講演 5	古文書から覗く日本人	79
	京都大学人文科学研究所准教授 岩城 卓二	
講演 6	アマゾンフィールドミュージアム	89
	京都大学野生動物研究センター長 幸島 司郎	
質問回答コーナー（午後の部）	103
パネルディスカッション	107
	パネリスト：山極 壽一（京都大学総長）	
	津田 敏隆（京都大学生存圏研究所長）	
	井波 陵一（京都大学人文科学研究所長）	
	小柳 義夫（京都大学ウイルス研究所長）	
	コーディネーター：吉川左紀子（京都大学こころの未来研究センター長）	
総括・挨拶	京都大学 理事・副学長 湊 長博	125
〔資料〕	案内チラシ	
	平成28年4月7日付け 読売新聞記事（大阪本社発行）	

※ 所属・職名は平成28年3月12日現在

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム
京 都 からの 挑 戦
(第 11 回)
「地球社会の調和ある共存に向けて」
— 報 告 書 —

発 行 日 平成 29 年 1 月
編集・発行 京都大学ウイルス・再生医科学研究所総務掛
住 所 〒 606-8507 京都市左京区聖護院川原町 53
T E L 075-751-4002
印 刷 所 双林株式会社

※ 本報告書は、講演等の内容を正確にお伝えできるよう、当日の筆録に
一部修正・加筆を行っております。

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム

「京都からの提言－21世紀の日本を考える」

- 第1回 平成18年3月16日(木) 10:00~17:30
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「危機をいかに乗り切るか? 東アジアといかに向き合うか?」
- 第2回 平成19年3月17日(土) 10:00~17:00
大阪・エルおおさか(大阪府立労働センター) エル・シアター
サブテーマ:「ノーベル物理学賞受賞者「湯川・朝永両博士が拓いた世界」
～湯川・朝永両博士 生誕百年に因んで～」
- 第3回 平成20年3月8日(土) 10:00~17:15
横浜・新都市ホール
サブテーマ:「人間と自然:新たな脅威と命を守るしくみ」
- 第4回 平成21年3月14日(土) 10:00~17:25
名古屋・名鉄ホール
サブテーマ:「学問のつながりのユニークさ:それがつくる明るい未来」
- 第5回 平成22年3月13日(土) 10:00~17:15
福岡・アクロス福岡
サブテーマ:「グローバル社会に生きる一未来を見据える目」
- 第6回 平成23年7月3日(日) 10:00~18:00
京都・京都大学時計台百周年記念ホール
サブテーマ:「混沌の時代に光を探る」
- 第7回 平成24年3月17日(土) 10:00~17:00
神戸・神戸国際会議場メインホール
サブテーマ:「明るい社会の未来像」
- 第8回 平成25年3月16日(土) 10:00~17:15
北海道・北海道立道民活動センター「かでの2・7」かでのホール
サブテーマ:「科学が見いだす日本の進路」
- 第9回 平成26年3月15日(土) 10:00~17:15
宮城県・仙台国際センター 大ホール
サブテーマ:「社会と科学者」
- 第10回 平成27年3月14日(土) 10:00~17:20
広島・広島国際会議場 国際会議ホール「ヒマワリ」
サブテーマ:「活力ある未来の〘想像〙と新たな展開を求めて」

「京都からの挑戦－地球社会の調和ある共存に向けて」

- 第11回 平成28年3月12日(土) 10:00~17:10
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「翔ぶ、京大」



京大 翔ぶ

京都大学研究連携基盤

- 化学研究所
- 人文科学研究所
- 再生医科学研究所
- エネルギー理工学研究所
- 生存圏研究所
- 防災研究所
- 基礎物理学研究所
- ウイルス研究所
- 経済研究所
- 数理解析研究所
- 原子炉実験所
- 霊長類研究所
- 東南アジア研究所
- iPS細胞研究所
- 放射線生物研究センター
- 生態学研究センター
- 地域研究統合情報センター
- 学術情報メディアセンター
- フィールド科学教育研究センター
- こころの未来研究センター
- 野生動物研究センター
- 物質－細胞統合システム拠点